SOUTHERN DISTRICT OF NEW YORK	v
MARK NUNEZ, et al.,	X : :
Plaintiffs,	:
- against -	:
CITY OF NEW YORK, et al.,	:
Defendants.	: : : 11 Civ. 5845 (LTS)(JCF) X
UNITED STATES OF AMERICA,	: :
Plaintiff-Intervenor,	: :
- against -	· :
CITY OF NEW YORK and NEW YORK CITY DEPARTMENT OF CORRECTION,	; ; ;
Defendants.	: X

DECLARATION OF STEVE J. MARTIN

STEVE J. MARTIN hereby declares as follows:

1. I am currently the Court-appointed Monitor of the *Nunez* Consent Judgment (dkt. 249) ("Consent Judgment") and I am responsible for assessing New York City's compliance with the Consent Judgment. The Monitoring Team includes professionals with substantial experience and commitment to advancing correctional reform (collectively, "the Monitoring Team"). Team members include the Monitor, Deputy Monitor, Associate Director, Analyst, and three Subject Matter Experts all of whom reflect diverse professional backgrounds, experiences, and perspectives that help to ensure that the Monitoring Team's work is neutral, independent, balanced, objective, fair, reasonable, and responsible. The Monitoring Team has developed significant expertise in the operations of the New York City Department of Correction (DOC) as it relates to the



JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて **トる事項と同一であることを証明する。**

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed th this Office.

と 願 年 月 日 Pate of Application:

2000年 3月 8日

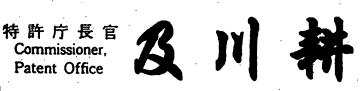
願 番 号 pplication Number:

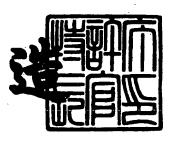
CERTIFIED COPY OF 特願2000-06376PRIORITY DOCUMENT

顧 licant (s):

富士通株式会社

2000年 9月 8日





【書類名】

特許願

【整理番号】

00-50127

【提出日】

平成12年 3月 8日

【あて先】

特許庁長官殿

【国際特許分類】

H04B 7/00

【発明の名称】

無線通信システム、 無線通信方法、および無線通信シ

ステムにおいて使用される無線通信デバイス

【請求項の数】

33

【発明者】

【住所又は居所】

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通

株式会社内

【氏名】

加來 尚

【特許出願人】

【識別番号】

000005223

【氏名又は名称】

富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】

100074099

【住所又は居所】

東京都千代田区二番町8番地20 二番町ビル3F

【弁理士】

【氏名又は名称】

大菅 義之

【電話番号】

03-3238-0031

【選任した代理人】

【識別番号】

100067987

【住所又は居所】

神奈川県横浜市鶴見区北寺尾7-25-28-503

【弁理士】

【氏名又は名称】

久木元 彰

【電話番号】

045-573-3683

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 0

012542

【納付金額】

21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】

明細書 1

【物件名】

図面 1

【物件名】

要約書 1

【包括委任状番号】

9705047

【プルーフの要否】

要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 無線通信システム、無線通信方法、および無線通信システムにおいて使用される無線通信デバイス

【特許請求の範囲】

V

【請求項1】 複数の無線通信デバイスを含む無線通信システムであって、 各無線通信デバイスが、

無線信号を受信する受信手段と、

予め設定されている基準レベルと上記受信手段により受信された無線信号の受信レベルとの差分レベルを検出する検出手段と、

上記検出手段により検出される差分レベルがゼロになるように上記受信手 段により受信された無線信号と同じ無線信号を出力する送信手段と

を有する無線通信システム。

【請求項2】 請求項1に記載の無線通信システムであって、

上記複数の無線通信デバイスにソフトウェアプログラムを配付するサーバ装置 を備え、

上記各無線通信デバイスが、上記サーバ装置から配付されるソフトウェアプログラムを格納する格納手段、およびその格納手段に格納されているソフトウェアプログラムに従って当該無線通信デバイスの動作を制御する制御手段をさらに有する。

【請求項3】 複数の無線通信デバイスを含む無線通信システムであって、 各無線通信デバイスが無線信号の信号レベルを補償する機能を備え、上記複数 の無線通信デバイスは、端末装置から送出された無線信号を、それら複数の無線 通信デバイスにより構成される全無線通信領域に伝搬するための無線共有バスを 提供することを特徴とする無線通信システム。

【請求項4】 無線高速アクセスネットワークを構築するための無線通信システムであって、

互いに干渉が起こらない程度に送信電力を小さくした複数のピコネットを有しており、且つ各ピコネットにおける使用帯域を広帯域化したことを特徴とする無 線通信システム。 【請求項5】 請求項4に記載の無線通信システムであって、

上記複数のピコネットを無線空間共有バスとして結合することによって1また は複数のサブネットを構築する。

【請求項6】 請求項5に記載の無線通信システムであって、

上記複数のサブネットに接続し、それら複数のサブネットに対してローミング 機能またはハンドオーバ機能を提供する接続制御手段をさらに有する。

【請求項7】 請求項5に記載の無線通信システムであって、

各サブネット内においては、複数のピコネットに対してローミング機能または ハンドオーバ機能を提供しない。

【請求項8】 請求項5に記載の無線通信システムであって、

上記複数のサブネットを、周波数、時間軸、または符号空間上で互いに分離する。

【請求項9】 請求項5に記載の無線通信システムの各サブネット毎に設けられるゲートウェイ装置であって、

当該サブネットに収容される端末装置に対して無線信号の同期のためのフレーム信号を提供するフレーム信号提供手段と、

上記無線空間共有バスが提供する通信チャネルを当該サブネットに収容される 端末装置に対して割り当てる割当て手段と、

当該サブネットに収容される端末装置と通信を行う通信手段と を有するゲートウェイ装置。

【請求項10】 請求項9に記載のゲートウェイ装置であって、

インターネット又は他の網と接続するためのインタフェースを更に有する。

【請求項11】 複数の無線通信デバイスを含む無線通信システムを利用してデータを伝送する無線通信方法であって、

第1の端末装置が無線信号を送出し、

各無線通信デバイスが、それぞれ、無線信号の受信レベルを検出し、その無線信号の受信レベルが予め設定されている基準レベルに一致するように受信した無線信号と同じ無線信号を出力し、

第2の端末装置が上記複数の無線通信デバイスの中の任意の1以上の無線通信

デバイスから上記無線信号を受信する無線通信方法。

【請求項12】 複数の無線通信デバイスを含む無線通信システムにおいて 使用される上記複数の無線通信デバイスの中の任意の無線通信デバイスであって

無線信号を受信する受信手段と、

予め設定されている基準レベルと上記受信手段により受信された無線信号の受信レベルとの差分レベルを検出する検出手段と、

上記検出手段により検出される差分レベルがゼロになるように上記受信手段により受信された無線信号と同じ無線信号を出力する送信手段と

を有する無線通信デバイス。

【請求項13】 請求項12に記載の無線通信デバイスであって、

上記検出手段は、上記基準レベルと上記受信レベルとの差分を完全積分する積 分機を備え、

上記送信手段は、上記積分機の出力に従って上記無線信号を出力する。

【請求項14】 請求項12に記載の無線通信デバイスであって、

端末装置および他の無線通信デバイスからの無線信号の受信レベルが予め設定 されている閾値よりも低かったときに、上記送信手段の動作を停止する判定手段 をさらに有する。

【請求項15】 請求項12に記載の無線通信デバイスであって、

当該無線通信デバイスの周辺の温度、光、雑音、または振動の中の少なくとも 1つを利用して電力を生成する発電手段を備え、

上記発電手段により生成された電力が上記受信手段、検出手段、送信手段の中 の少なくとも1つに供給される。

【請求項16】 請求項12に記載の無線通信デバイスであって、

蛍光灯から輻射される電磁気雑音または蛍光灯に供給されるAC電圧に乗っているリップルを利用して電力を生成する発電手段を備え、

上記発電手段により生成された電力が上記受信手段、検出手段、送信手段の中 の少なくとも1つに供給される。

【請求項17】 複数の無線通信デバイスを含む無線通信システムにおいて

使用される上記複数の無線通信デバイスの中の任意の無線通信デバイスであって

無線信号を受信する受信手段と、

上記受信手段により受信された信号を処理するための互いに同じ構成の信号系 処理手段およびGND系処理手段と、

上記信号系処理手段およびGND系処理手段の各出力の差分を出力する差分回路と、

予め設定されている基準レベルと上記差分回路の出力との差分レベルを検出する検出手段と、

その検出手段の出力がゼロになるように上記受信手段により受信された無線信号と同じ無線信号を出力する送信手段と

を有する無線通信デバイス。

【請求項18】 受信アンテナおよび送信アンテナを有し、その受信アンテナを経由して受信する受信信号の受信パワーが予め定められた基準値に一致するように、上記受信信号の位相を変化させていない信号を上記送信アンテナから補完送出する通信デバイス。

【請求項19】 請求項18に記載の通信デバイスであって、

送信信号を制御する制御ループ内に完全積分回路を設ける。

【請求項20】 請求項18または19に記載の通信デバイスであって、

上記受信アンテナを経由して受信した受信信号の受信パワーが信号の有無を判断するための基準値よりも低かったときは、上記送信アンテナから信号を送出する動作を停止する。

【請求項21】 請求項18~20のいずれか1項に記載の通信デバイスであって、

当該通信デバイスの周辺に存在する熱エネルギー、振動エネルギー、電界雑音のエネルギー、磁界雑音のエネルギーのうちの少なくとも1つを利用して自ら発電する機能を備える。

【請求項22】 請求項 $18\sim21$ のいずれか1項に記載の通信デバイスであって、